

2.7_3

(3) インターンシップ

2022年度も2021度に引き続き、工学部の全学科でインターンシップが実施された。表1は、各学科が授業科目として単位認定しているインターンシップ科目の一覧である。インターンシップに参加し、各学科で定めた条件を満たした学生には、これらの科目の単位が認定される。インターンシップの評価方法としては、レポート提出や実施報告書提出及び業務日誌等で行っている。希望者数と派遣者数を表2に示す。合計欄の括弧書きの数値は、参考のために2021年度の希望者数と派遣者数を示したものである。希望者すべてを派遣することができているが、新型コロナ禍の影響により今年度の希望者数もコロナ禍前と比較して大幅に減少している。

2022年度も、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言などにより、各学科で例年通りのインターンシップや企業見学の実施が一部困難となり、特に年度前半ではインターンシップへの参加の自粛、企業見学での現地訪問の中止を余儀なくされたところもあったようであるが、多くの企業が工夫し、対面での実施を模索されていたようである。もちろん、リモートを活用した新たな様式のインターンシップの在り方が模索され、リモートや一部現地でのインターンシップ参加、オンラインでの企業見学の企画などにより、また360度カメラを利用して予め現場を撮影し、それを見せながらバーチャル現場見学を試みた企業もあったようである。加えて、インターンシップの報告会を遠隔（Zoom）と対面形式（いわゆるハイブリッド形式）で開催し、インターンシップ参加の機会が得られなかった学生を含め、体験や情報が共有されたようである。また、インターンシップ先企業に赴いての実習の機会は限られたものの、リモートでのインターンシップに複数社参加する学生も見られた。

コロナ以前も授業科目としてのインターンシップ参加者が減少していたが、この背景には、企業が夏休み以降（授業期間）に実施している会社見学や1-DAY インターンシップの増加があったが、2022年度もその傾向が強かったことは否めない。学生にとっては少しでも早く就職活動を始めたいという思いがあるので、短期のものに複数回参加したがる傾向がある。これによって大学が目的とする長期のインターンシップは敬遠されつつある。これは、就職先が転勤が多い企業を避ける傾向とやや関係があるかもしれない。さらにインターンシップに参加すると就職試験時に有利であるとの情報が広がっており、就職先として考える企業以外への参加を渋る傾向もみられ、また授業よりもインターンシップを優先する学生が出てきていることも事実である。コロナ禍では、この傾向がさらに進んでしまったのかどうかは計れないが、このような状況は、大学生の本分を曲げ、また学生の視野を狭めることにもつながり、深く仕事について知ることを妨げるになることを懸念する。今後もインターンシップの本来の意義を学生に伝えると共に、企業に対しても教育効果の高い新しい様式のインターンシップの実施を依頼する必要がある。

表1 2022年度 各系学科のインターンシップの授業科目

学 科 名	プログラム名	授業科目名	必修・選択 科目	単位数
土木建築学科	土木工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	地域デザイン教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	建築学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
機械数理工学科	機械工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	機械システム教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	数理工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
情報電気工学科	電気工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	電子工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	情報工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
材料・応用化学科	応用生命化学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	応用物質化学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	物質材料工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2

表2 2022年度 工学部インターンシップ実績表 ()は2021年度の数

学 科 名	プログラム名	希望者数	派遣者数
土木建築学科	土木工学教育プログラム	48(35)	48(35)
	地域デザイン教育プログラム	55(42)	55(42)
	建築学教育プログラム		
機械数理工学科	機械工学教育プログラム	9(7)	9(7)
	機械システム教育プログラム	0(2)	0(2)
	数理工学教育プログラム		
情報電気工学科	電気工学教育プログラム	2(4)	2(4)
	電子工学教育プログラム		
	情報工学教育プログラム		
材料・応用化学科	応用生命化学教育プログラム	1(2)	1(2)
	応用物質化学教育プログラム	25(8)	25(8)
	物質材料工学教育プログラム		
合 計		140(100)	140(100)